

山本ファミリー農園の野菜セットって、 どうやってできあがるの？

私たちの畑は標高550mの所にあります。
夏は広島市内に比べ涼しいですが、冬は野菜が凍る寒さになります。
広さはおよそ3ha、野菜農家としては広い方です。
こんな畑からお届けする野菜セットのできるまでを紹介します。

●まず、作付けを考え、種をまきます。

一年を通して野菜を切らさないように作付けを考えます。
春は、だんだん気温が上がってくるにつれ、野菜の生長が早くなるので、後から種をまいたものが、先にまいたものにどんどん追いついてきます。上手に種まき時期をずらしていかないと、収穫が重なったり、収穫するものがなくなってしまったりと、野菜セットを作るのに苦労することになります。
お天気と相談しながらの種まきなのですが、お天気はなかなか相談にのってくれないので、毎年、苦労するところです。



収穫は軽トラックで

●お届け日の2日前、 収穫リストを作ります。

畑にある野菜と相談しながら野菜セットの内容を決め、何をどれだけ収穫するかリストを作ります。畑にちょうどいい量の野菜がある時はいいのですが、多すぎる時も、少なすぎる時も、頭を使います。同じものが続かないように、量の少ないものは皆に入るように、悩むところです。野菜セットの内容が決まったら、その日のお便り、宅配便の伝票を印刷、必要な時には野菜のレシピを準備します。

●お届け日の前日、 収穫をします。

午前中に、収穫リストを見ながら必要な量の野菜を収穫します。
収穫した野菜は、葉物など黄色くなっている葉があれば、取り除いてきれいにします。
虫食いのひどいものや、傷んだもの、大きすぎたり小さすぎたり、形のひどく悪いものなどは、自家用又はおまけ用にします。
気温が高くなってくると、収穫中にしおれないように注意が必要です。
葉物野菜などしおれやすいものは、収穫後すぐに霧吹きで水をかけ、新聞紙で覆うなどして風が当たらないようにして、日陰の涼しい所に保管しておきます。
人参や大根、ゴボウなど泥がたくさんついていいる時には、洗って泥を落とします。

●小分けをして、箱詰めをします。

収穫してきた野菜を、一セット分ずつに量り、しおれないように新聞紙に包んで小分けをします。わかりにくいものには、包みに野菜の名前を書きます。
Sセット、Mセット、Lセット、それぞれの品数を確認、組み立てた段ボール箱の中に詰めていきます。
その日のお便り、レシピなどを入れて箱詰め終了。入れ間違いが無いかな最終確認をして、封をします。
宅配便の締め切り時間が近づいてくると、緊張感が走ります。
箱に生ものシールを貼って、荷物の数を確認。これでやっと一息です。

●そして、出荷です。

締め切り時間になると、畑まで宅配便のトラックが荷物を取りに来ます。
野菜セットの入った箱はトラックに積み込まれ、畑からそれぞれのお届け先へ向かいます。

●お届け日 お届けの確認をします。

収穫の翌日、畑の野菜は食べてくださる方のもとへ。
ご不在の場合など、お届けができない時には、その後の対応をします。

- ・山本ファミリー農園の日々の様子は、フェイスブックでお伝えしています。
- ・畑の野菜で作った“うちのごはん”の写真などは、山本ファミリー農園のブログで発信中。
http://blog.goo.ne.jp/tonchan_sy/